



令和3年7月13日
鈴鹿市立玉垣幼稚園
No. 10

七夕お楽しみ会！願い事叶うかな・・・☆

七夕に向けて、毎日種類ずつ作ってきた七夕飾りを6日に笹に飾り付け、遊戯室に飾りました。

七夕飾り制作は、輪つなぎや貝つなぎなど少し難しい制作ではありましたが、一つ一つ丁寧に作る姿が見られました。短冊の願い事は、数日前から「お願い事を聞くから考えておいてね」と声を掛けており、「何お願いしよう～」「(大きくなったら)プリンセスがいいかな？プリキュアがいいかな？」と悩んでいる子もいましたが、「プリンセスのアリエルになりたいな」「ドラえもんにあいたいな」「お花屋さんになりたいな」など夢を膨らませ、十人十色の短冊ができました。

7日は、すみれ組さんと一緒に七夕お楽しみ会を行いました。『たなばたさま』の歌を歌ったり、七夕の由来のお話をパネルシアターで見たり、最後には冷たくて美味しいチューペットをみんなで食べたりして楽しい時間を過ごしました。

このように日本の伝統行事について知り、それにまつわる制作をしたり、お楽しみ会に参加したりして、行事に親しみをもつことを大切にしています。みんなの願い事、叶うといいですね☆



「こんなの作ったよ！」「見せて見せて！」

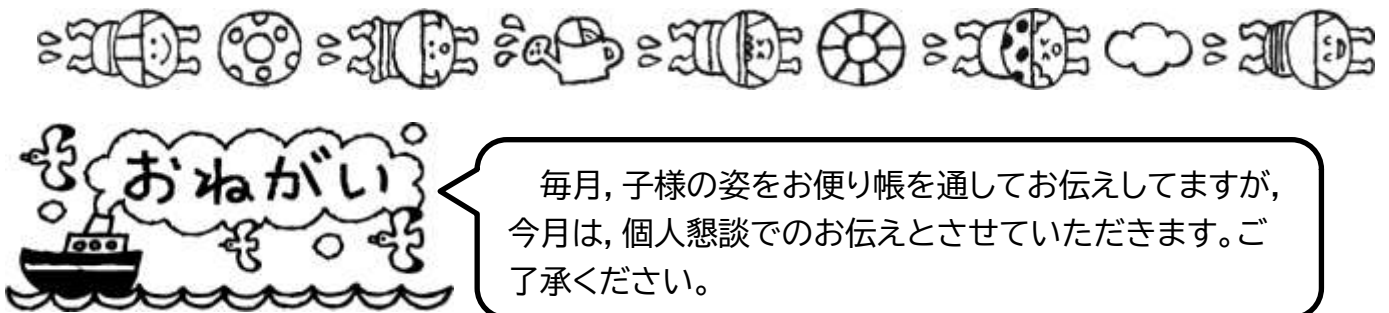
～作る楽しさ、みんなに知ってもらおう心地よさ～

制作コーナーで、空き箱やゼリーのカップ、ラップの芯などを使って、自分の作りたい物を作ることを楽しむ子の姿が多く見られています。4月は、広告の紙を巻くのも難しく「先生、手伝って」と言っていた子達も、毎日繰り返し広告の棒を作ってステッキや掃除機などを作っているうちに、器用に細く巻けるようになってきたんですよ。



片づけをして、水分補給などを済まして全員が揃ってから、遊びの中で楽しかったことやみんなに知らせたいことを一人ずつ前に出て話す『遊びの振り返り』の時間を設けています。その中で、「箱で、お菓子の自動販売機を作ったよ！」「ねずこのリボンを作ったよ」などと自分で考えて工夫して作った物や、友達と一緒に作った物をみんなに伝える子の姿が多くなってきました。すると、話を聞いている子達からも「どんなの作ったん？」「見せて見せて！」という声が挙がるようになり、みんなの前で作った物を見せながら、「ここがボタンになってて・・・ここを押すと出てきて・・・」などと一生懸命自分なりに説明する姿が見られています。みんなが「すごーい！面白そう」とワクワクした表情で話を聞いてくれるので、発表する子もとても嬉しそうなんです。お菓子の自動販売機を作った子の話を聞いた翌日は、別の子がアイスの自動販売機やジュースの自動販売機を作る姿もありました。友達の作る物って、とても魅力的なんですね。友達の遊びに興味をもち、「おもしろそうだな」「私もやってみたい」という気持ちをもつことも一つのねらいとしています。

まだ自分の言葉で上手く伝えられなかったり、緊張して言葉が出てこない子の姿も多いので、まずは私がその子の伝えたいことを少しずつ聞き出しながら、先生と一緒に簡単な言葉でみんなに話してみることから始めています。



15日(木)の登園時に、アルバムに入れる『親子で登園』の写真を撮りたいと思っています。

水色の門の前で、登園されたお子さんからお家の方と一緒に親子での写真を私が撮りますので、よろしくお願いします。欠席や雨天時の予備日は16日(金)です。